

小島信夫文庫

戦後文学の代表的作家である小島信夫（1915－2006）の旧蔵資料が、平成20（2008）年10月に寄贈され、文庫を設立した。資料が散逸しないよう一箇所にまとめて保管することによって、小島の研究者ならびに一般読者に広く活用されることを望んだご遺族のご厚意によるものであり、生前の小島と親交のあった本学の名誉教授平井法を介しての寄贈である。

旧蔵書3,194冊のほか、原稿、創作ノートなどの自筆資料や写真、遺品などの関係資料2,501点が収蔵されている。